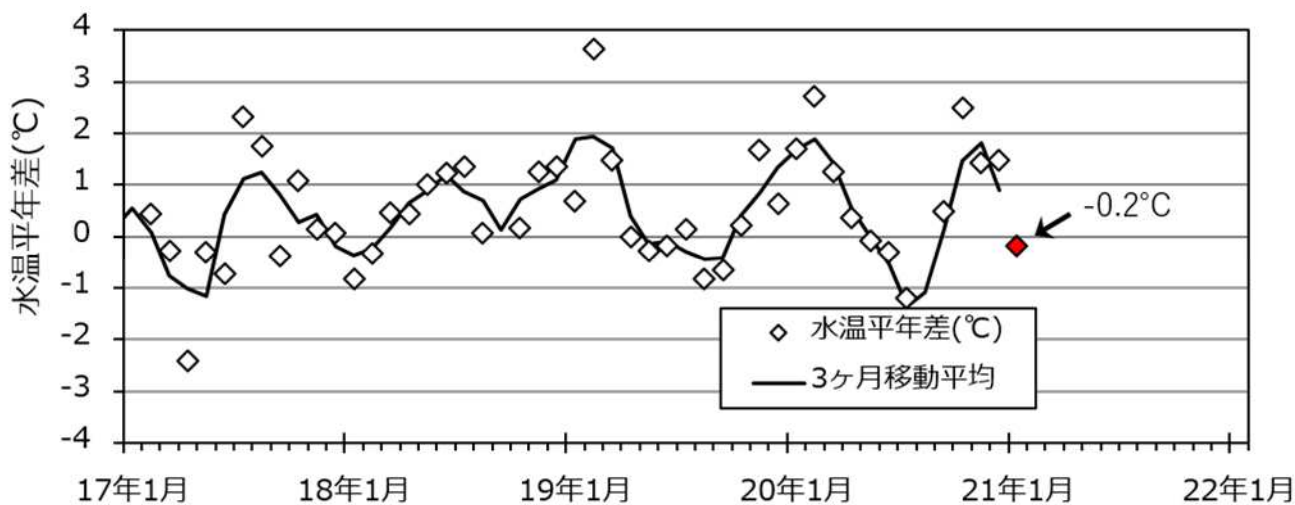


【水温の変動】

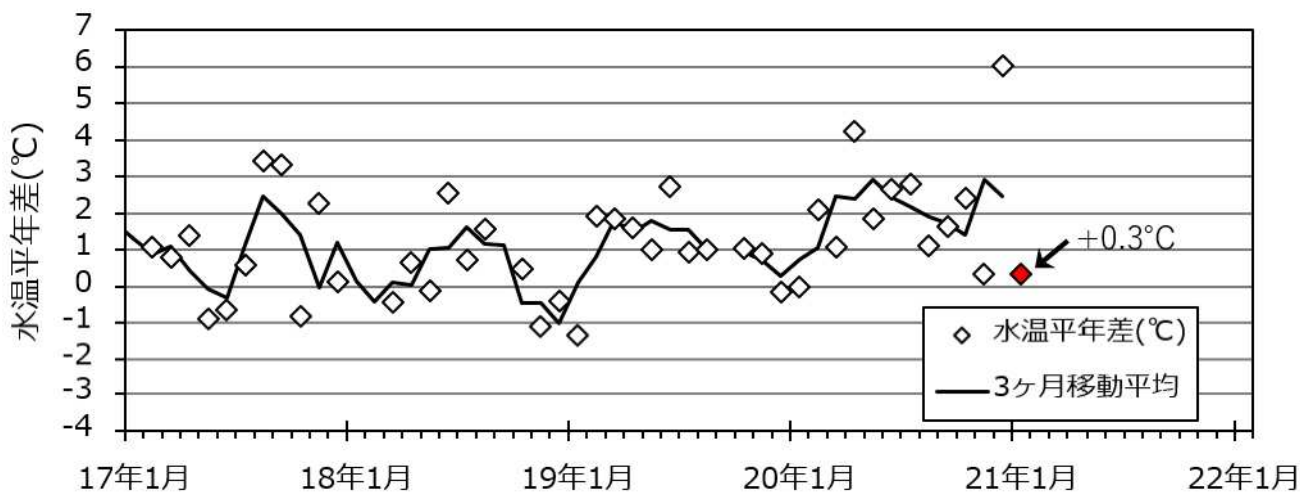
1月14日、15日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。湾口部では平年差 -0.2°C で平年並み、沖合域では平年差 $+0.3^{\circ}\text{C}$ で平年並みでした。

1月14日の人工衛星画像によると、黒潮は遠州灘沖を北緯31度付近まで南下した後、八丈島付近を通過してS字状に北上し、房総半島沖へ流れています。また、熊野灘～遠州灘沖に暖水塊が存在している影響で、渥美外海は高温傾向が続いています。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※2021年1月のA19は欠測

※水温平年差は過去10年平均値との差

【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で 11.1～19.1℃、水深 100m で 13.4～19.1℃、200m で 10.6～14.8℃となっていました。水温は沿岸域で低く、黒潮から切り離された暖水塊が熊野灘～遠州灘沖に存在している影響で、三重県側の沖合で高くなっています。また、東よりの沖合に小規模な冷水渦とみられる低温域があり、鉛直断面図を見ると、A10～A15 にかけて等温線の傾きが極めて大きく、局所的に西向きの強い流れがある模様です。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度の鉛直断面図

